

平成 26 年 8 月

すいか切る七等分に悩みつつ  
むずかしいものにすいかのに七等分  
風鈴や虫の鳴き声まねて鳴る  
打ち水の過剰となりし水溜まり  
角部屋の吾を追ひつめる西日かな  
もくもくの音たて太る雲の峰  
なにもせぬことがほんとの夏休み  
怒りつぽい親父のかぶりカンカン帽  
これ以後は晴れと予報の残る蟬  
夏惜しむ貝の砂粒払ひつつ